

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

プレコングレスワークショップ 13	
企画名	一味ちがう家族志向のケア ～その患者さん、“家族問題”ありませんか？～
日時	2017年5月12日（金） 15:00～16:30
会場	第5会場 （サンポートホール高松 ホール棟 7F 第1リハーサル室）
企画責任者	加藤 大祐（三重大学大学院）
定員	36名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】 しっかり患者さんの話を聴いているのに治療効果に乏しい方、家族志向のケアに関心はあるものの、思うような治療効果が得られていない方を対象とし、明日からの診療のレベルアップを図ることが目的です。</p> <p>【概要】 さまざまな健康問題に、家族との関連があると言われていきます。三重大学では、2016年度より家庭医療学 家族システム/心理社会医学フェローシッププログラムが開始され、講義と症例検討を通して、生物心理社会モデル、家族システム論、行動科学の理論、エビデンスから、日々の臨床を振り返り、明日の診療につなげる取り組みを行っています。</p> <p>今回のワークショップでは、家族の関係性を紐解く手法をお示しするとともに、それを用いて、頻度の高い家族問題のあるシナリオのグループワークを行います。米国家族療法修士、臨床心理士、心療内科医、家族療法家、フェローシップ卒業生が、フィードバックを行うことで理解を深めます。</p>	